

独立自尊の社会・世界に
貢献する人財を育成する



株式会社ナガセ

2025年3月期第3四半期 決算説明資料

2025年1月29日

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校
早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚 
 木村塾

 イトマンイミダスクール
 イトマンホーテスクール
 Itoman Sports Square
東進ビジネススクール
 TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

目次

1

会社概要

P. 2

2

業績振り返り / 業績予想

P. 5

3

Appendix.

P. 11

1. 会社概要

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚

木村塾

イマンスイミングスクール
イマンスポーツスクール
Itoman Sports Square

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

事業概観・企業理念

企業理念「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」

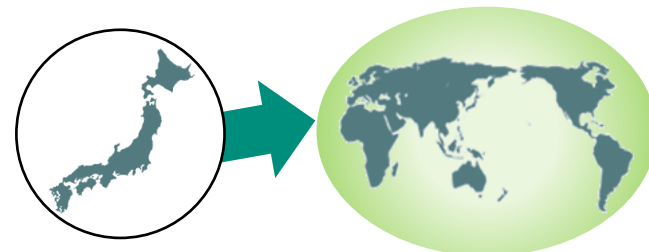
生徒数 約**42万人**

全国3,000拠点
民間最大の教育機関

東進 育英舎
東進 スクール 四国

HUMALLAGE
木村塾

東進 ハイスクール
東進 衛星予備校
早稲田塾



でてこい。未来のリーダーたち。

四谷大塚

でてこい。未来のリーダーたち。
四谷大塚 NET



中学受験
小学生 約3.2万人

大学受験高校生 約12万人

高校生

大学生

社会人

フロンティアサロン
財団【永瀬賞】

東進 こども英語塾

東進 CODE MONKEY

幼児

小学生

中学生

東進 ハイスクール 中学部
東進 中学 NET

東進 オンライン学校

AIリーダー研修
語学・ビジネススキル研修
東進 ビジネススクール

TD TOSHIN DIGITAL UNIVERSITY

大学生～社会人 約7.2万人

イトマン スイミングスクール イトマン スポーツスクール

スポーツ事業 約15万人

イトマン
スポーツウェルネス
(旧ダンロップスポーツウェルネス)

New

Itoman Sports Square



本多 灯選手
2021年東京五輪
銀メダル



入江 陵介
2012年ロンドン五輪
銀メダル

※2024年4月現役引退
イトマン特別コーチ

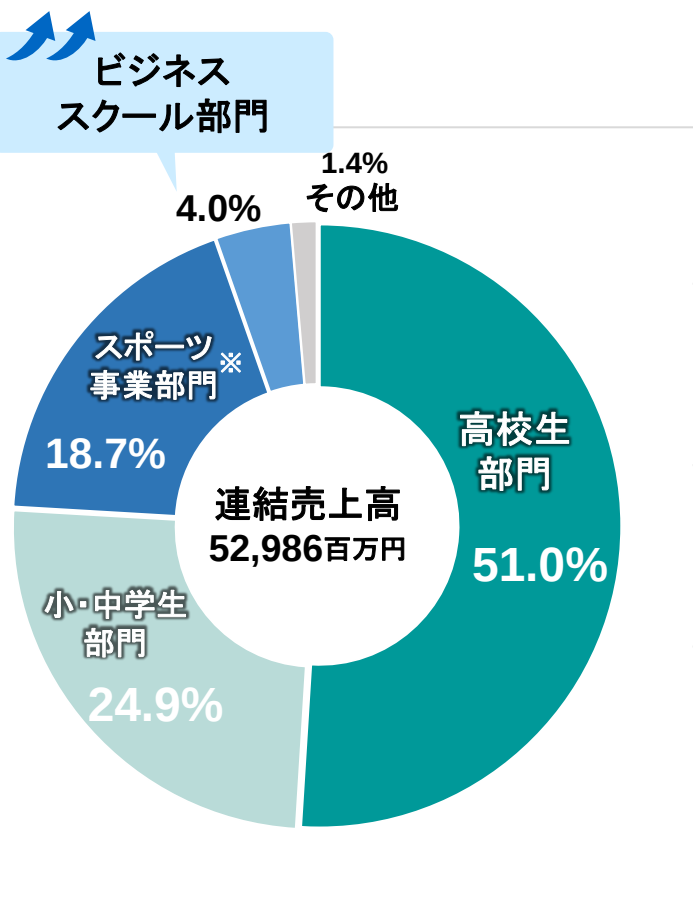


大橋 悠依
2021年東京五輪
金メダル二冠

※2024年10月現役引退
イトマン特別コーチ

各事業セグメントの概要

セグメント別の売上構成比(2024年3月期)



- 1** 高校生 **東進ハイスクール** **東進衛星予備校**  **早稲田塾**
- 2** 小・中学生 でてこい、未来のリーダーたち。 **四谷大塚**  **東進中学NET**  **木村塾**
- 3** スポーツ事業※  **イマンスイミングスクール**  **イマンスポーツスクール**
 **Itoman Sports Square New**
- 4** ビジネススクール (AI・DX領域) **東進ビジネススクール**  **TD TOSHIN DIGITAL UNIVERSITY**

※第3四半期より、スイミングスクール部門は「[スポーツ事業部門](#)」に名称を変更しました。

2. 業績振り返り / 業績予想

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。

四谷大塚



Itoman Sports Square
イマンスイミングスクール
イマンスポーツスクール

木村塾

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

2025年3月期第3四半期の連結業績概況

(単位:百万円)	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2025年3月期3Q 累計(当期)	39,487		3,819		3,018		1,658	
2024年3月期3Q 累計(前期)	39,581		3,747		3,613		2,159	
前年比 (%)	△94	△0.2%	71	1.9%	△594	△16.5%	△500	△23.2%

- 売上高は、前年比△94百万円(0.2%減)となりました。(前年対比 1Q△545、2Q+125、3Q+326 単位:百万円)
 - ①ビジネススクール部門の減収 △273百万円 (1Q△476、2Q+161、3Q+42。前期1Qの企業向けDX研修受注が、2Q以降に分散)
 - ②小・中学生部門の減収 △95百万円 (四谷大塚の在籍生徒数減の影響による減収/ヒューマレッジ(木村塾等)は前期比増)
 - ③その他の部門の増収 246百万円 (スポーツ事業部門+162百万円、その他部門+84百万円)なお、高校生部門では、夏期・冬期募集を含む4月以降の新規生徒入学数が好調に推移し、7月末以降の在籍数が前年を上回って推移した結果、前期末在籍数減による減収影響を第2四半期・第3四半期の増収により概ね回復できております。(前年対比 1Q△231、2Q+20、3Q+193 単位:百万円)
- 経費面では、前年比△165百万円(0.5%減)となりました。賃金ベースアップに伴う人件費増加はありましたが、広告宣伝費△556百万円(前期は全国統一小学生テストに関する新作TVCM制作費用あり)の他、費用対効果の検証を通じて経常経費をコントロールしたことによるものです。
- 利益面では、2Qからの売上高回復と継続した経費コントロールにより、営業利益は前年比+71百万円(1.9%増)となりました。なお、営業外費用で、2Qに持分法適用関連会社に係る投資損失659百万円の計上(一過性の損失)があったため、経常利益以下では前年を下回りました。

2025年3月期第3四半期の連結業績概況(セグメント別業績)

(単位:百万円)	2024年3月期3Q		2025年3月期3Q		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)		
売上高	39,581	100.0%	39,487	100.0%	△94	99.8%
高校生	20,655	52.2%	20,638	52.3%	△17	99.9%
小・中学生	9,661	24.4%	9,565	24.2%	△95	99.0%
スポーツ事業	7,470	18.9%	7,633	19.3%	162	102.2%
ビジネススクール	1,274	3.2%	1,000	2.5%	△273	78.5%
その他	1,442	3.6%	1,526	3.9%	84	105.8%
連結調整※	△923	-	△877	-	-	-
	実績	利益率(%)	実績	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	3,747	9.5%	3,819	9.7%	71	101.9%
高校生	3,911	18.9%	3,950	19.1%	38	101.0%
小・中学生	1,528	15.8%	1,830	19.1%	301	119.7%
スポーツ事業	503	6.7%	497	6.5%	△5	98.9%
ビジネススクール	405	31.8%	54	5.5%	△350	13.5%
その他	209	14.5%	270	17.8%	61	129.3%
連結調整※	△2,811	-	△2,785	-	-	-
経常利益	3,613	9.1%	3,018	7.6%	△594	83.5%
四半期純利益	2,159	5.5%	1,658	4.2%	△500	76.8%

※ 連結調整額にはセグメント間取引消去額、各報告セグメントに配分していない全社費用を含む

2025年3月期3Q 売上高変動要因

- 高校生部門
 - 夏期・冬期募集を含む新規生徒募集が好調、7月末以降の在籍数が前年を上回り推移した結果、前期末在籍数減による減収影響を2Q・3Qの増収により概ね回復(3Q累計0.1%減)。
- 小・中学生部門
 - ヒューマレッジ(木村塾等)が前年比6.3%増と好調に推移した一方、四谷大塚の在籍減を主因として、部門全体としては前年比 1.0%減となった。
- スポーツ事業部門
 - 学校受託などの販路拡大が成果を上げつつあり、全体として前年比 2.2%増となった。
- ビジネススクール部門
 - 企業向けAI・DX研修の大口受注が昨年は1Qに計上されたが、当期は受注が2Q以降に分散する見込みとなったため、前年比21.5%減となった。(2Q・3Q単独では増収)

2025年3月期3Q 利益変動要因

- 主な増益要因
 - ① 小・中学生部門(広宣費減) 301百万円
 - ② その他部門(出版売上増) 61百万円
- 主な減益要因
 - ① BS部門(受注時期の変動) △350百万円
- その他減益要因(営業外費用)
 - ① 持分法による投資損失 △659百万円
- 全体では、前年比営業利益71百万円増、経常利益594百万円減、四半期純利益500百万円減となった。

2025年3月期の連結業績予想 (2024.10.24付「業績予想の修正」から変更なし)

イトマンスポーツウェルネス連結による
増収効果 +1,800百万円

売上高	修正前	修正後
連結合計	54,629	56,429
スポーツ事業	10,288	12,088

2025年3月期 売上高計画要因

- 高校生部門
 - 前年第4四半期から入学者数が回復基調になってきたこと、また、本年3月に設置した「高校別対応の個別指導コース」による増収効果を勘案し、前年比**2.6%増**とした。
- 小・中学生部門
 - ヒューマレッジは生徒数増加が見込まれるものの、四谷大塚の足元の生徒在籍数を勘案し、前年同水準とした。
- スポーツ事業部門
 - 足元の会員数回復傾向の継続と学校受託事業など新規事業の増収効果を反映し、前年比**3.8%増**とした。
 - なお、イトマンスポーツウェルネスのグループ化に伴い、1-3月分の売上高を加算した。
- ビジネススクール部門
 - 大学向けでは入学前教育、企業向けでは語学、ビジネス教養分野の既存分野に加え、DX・ITリテラシー教育の需要増を捉えた新分野での講座提供を見込み、前年比**24.8%増**とした。

2025年3月期利益計画要因

- 営業利益
 - 各部門の増収効果と既存経費の前年同水準でのコントロールにより、前々期(第48期)実績並の利益率まで回復することを見込み、前年比**21.8%増**とした。
- 経常利益、当期純利益
 - 第2四半期末に持分法適用会社に係る株式投資損失659百万円が発生したため、経常利益**5.9%増**、当期純利益**1.0%減**とした。

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		対前年比(増減)	対前年比(%)
	実績	構成比(%)	計画	構成比(%)		
売上高	52,986	100.0%	56,429	100.0%	3,442	106.5%
高校生	27,016	51.0%	27,711	49.1%	695	102.6%
小・中学生	13,214	24.9%	13,229	23.4%	15	100.1%
スポーツ事業	9,909	18.7%	12,088	21.4%	2,178	122.0%
ビジネススクール	2,124	4.0%	2,650	4.7%	526	124.8%
その他	1,939	3.7%	1,969	3.5%	30	101.5%
連結調整※1	△1,218	-	△1,218	-	-	-
	実績	利益率(%)	計画	利益率(%)	対前年比(増減)	対前年比(%)
営業利益	4,538	8.6%	5,526	9.8%	988	121.8%
経常利益	4,323	8.2%	4,577	8.1%	253	105.9%
当期純利益	2,602	4.9%	2,577	4.6%	△25	99.0%

※1 連結調整額にはセグメント間取引消去額を含む

株式投資損失
▲659百万円

	修正前	修正後
経常利益	5,236	4,577
当期純利益	3,236	2,577

株主還元

- 当社は、事業の成長また経営基盤強化など、事業展開を進めるうえで必要な内部留保を確保し、財務の健全性を維持するとともに、業績に応じた株主への利益還元を行うことを利益配分の方針としております。

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	株式分割 1株↓3株	2024年3月	2025年3月 (予想)
配当 (円)	100	130	130	130	130	130	130	200	300		100	100
配当性向 (%)	44.3%	35.8%	45.1%	44.2%	113.4%	39.1%	47.0%	51.0%	65.8%		101.2%	102.2%

当社は2023年4月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を実施いたしました。これにより、発行済株式数は30,445,227株となり、「2023年3月期決算短信」以降の開示文書では、1株あたりの各数値は換算値で表示されております。（例：配当300円→100円）

お問い合わせ先

常務取締役 総務本部長 内海 昌男

TEL: 0422-45-7011

WEBサイト: <https://www.toshin.com/nagase/>

本資料における留意点について

本資料は、当社の事業、業績等に関する一般的な情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいた当社独自の業績予測や将来の見通しが含まれており、当社はその正確性や完全性を保証または約束するものではありません。

判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が計画と異なること、計画が予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

Appendix.

株式会社 **ナガセ** 一人財育成企業

東進ハイスクール
東進衛星予備校

早稲田塾

でてこい。未来のリーダーたち。

四谷大塚



木村塾

イマンスイミングスクール
イマンスポーツスクール
Itoman Sports Square

東進ビジネススクール

TD TOSHIN
DIGITAL
UNIVERSITY

2020年3月期~2025年3月期第3四半期

四半期連結決算業績概況

- 当社の事業は、受験や進級・進学シーズンを節目に、季節性を有します。
- 新学年の開始時期である第1四半期は費用が先行し赤字となるケースも多く、その後第2四半期以降、特に生徒数がピークを迎える第3四半期・第4四半期に売上・利益ともに増加するという季節的な変動があります。

	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	8,957	11,180	12,879	12,164	7,744	10,759	13,497	13,851	9,996	12,131	13,715	13,561	11,065	13,133	14,343	13,812	11,691	13,706	14,184	13,405	11,145	13,831	14,510
営業利益	△404	1,627	2,166	1,186	△1,233 ※	903	2,868	1,603	114	1,539	2,339	1,597	400	2,045	2,544	380	△169	1,599	2,317	790	△291	1,796	2,313
経常利益	△487	1,542	2,127	1,068	△1,292 ※	807	2,764	1,782	91	1,385	2,253	1,423	399	1,897	2,439	335	△138	1,468	2,283	709	△314	985	2,348
親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	△321	1,060	1,470	716	△917	559	1,954	830	76	951	1,558	854	937	1,315	1,629	117	△150	847	1,463	442	△253	368	1,544

※ 2021年3月期の連結営業利益および連結経常利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業停止により発生したスポーツ事業部門における損失450百万円を特別損失に振り替える前の数値を掲載